

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・北海道教育実践表彰
- ・『学習・生活・運動習慣』向上運動
- ・平成29年度読書感想文コンクール
- ・就学援助のお知らせ
- ・厚真町育英資金のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

北海道教育実践表彰

厚真中と坂本教諭(中央小)が受賞



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

北海道の学校教育の向上に大きく貢献している学校や、児童生徒の指導に情熱を傾け、優れた実践活動により大きな成果をあげている教職員を表彰している「北海道教育実践表彰」に、厚真町から厚真中学校(学校表彰)と、厚真中央小学校 坂本 和利 教諭(教職員表彰)の実践が評価され、表彰式が行われました。

【学校表彰】厚真町立厚真中学校

(渋川 賢一 校長)

英語教育の推進や、家庭や地域との連携・協働による教育活動の充実に努め、特に「教育課程特例校」として、新教科「コミュニケーション科」の学習活動、また、家庭と連携した学力向上の取組、地域人材を活用した土曜授業の実施など、先駆的な実践が高く評価されました。

【渋川校長のコメント】

本校の実践だけではなく、厚真町の学校教育の実践を代表して表彰していただけるものと考えています。今後、コミュニティ・スクールなどを活用し地域の皆様と連携しながら、教育活動の充実に努めてまいります。



【教職員表彰】坂本 和利 教諭

(厚真町立厚真中央小学校)

厚真町及び胆振管内における授業改善のリーダーとして、児童の学力向上や教員の指導力向上に努め、その実践が高く評価されました。また、北海道道徳教育推進会議委員、胆振管内道徳教育推進委員を務められています。

【坂本教諭のコメント】

厚真町は熱意のある教職員がたくさんいます。私一人の表彰ではなく、教職員の代表として表彰していただけるものと考えています。また、北海道版道徳教材「きた・ものがたり」や「道徳教育推進教師ハンドブック」が広く活用されるように発信していきたいです。



数字に見る厚真の子どもたちの生活

「学習・生活・運動習慣」向上運動の取組の一つとして、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、第2回目の「生活リズム定着」の取組を行いました。以下、子どもたちの生活の実態をお知らせします。表の中の前回比は、第1回目(平成29年6月)との比較です。

項目	向上運動の目標(目安)	観 点 (平日の平均)	比較	小学生125人の 平均(小4~小6)	比較	中学生99人の 平均(中1~中3)
				平成29年12月分		平成30年1月分
睡眠時間	小学生 9時間 中学生 8時間	睡眠時間の平均	↑	8時間54分 (前回比 +10分)	↓	7時間35分 (前回比 -9分)
朝ご飯	100%	朝ご飯の摂取率 (1週間の平均)	↓	96% (前回比 -2%)	↓	92% (前回比 -6%)
家庭学習	学年の目安の時間	家庭学習の時間	↓	53分 (前回比 -1分)	↑	1時間34分 (前回比 +19分)
読 書	10分以上	家庭で読書をする時間		14分 (前回比 同)	↓	8分 (前回比 -8分)
運 動	運動や手伝いを 合わせて、1時間	家庭での運動時間(学校 での体育や部活も含めて)	↓	58分 (前回比 -14分)	↓	57分 (前回比 -25分)
手伝い	以上	手伝いの時間	↓	14分 (前回比 -1分)		12分 (前回比 同)
メディア	すべてのメディアを含めて、 1日2時間以内	テレビ・ゲームの利用時間	↓	1時間21分 (前回比 +6分)		1時間03分 (前回比 同)
		ケータイ・スマホの利用時間			↓	利用者の平均 55分 (前回比 +2分)

平成29年度読書感想文コンクール 大賞は大宮さん(中央小)

応募総数 250点

町内の小学生を対象に、冬休み期間中、本に親しみ、心豊かな子どもたちを育むことを目的に毎年開催している『読書感想文コンクール』の表彰式が2月17日に行われました。

今年度は町内の小学校2校から250作品が寄せられ、厳正な審査の結果、各学年から最優秀賞、優秀賞、優良賞の39点の入賞作品が決定し、大賞には厚真中央小学校1年生大宮暉子さんの『「ともだちくるかな」をよんで』が選ばれました。

表彰式では、保護者や学校の先生たちが見守るなか、入賞者の表彰と大賞・各学年の最優秀賞作品の朗読が行われました。受賞作品をまとめた文集が図書室にありますので、ぜひご覧ください。



学年	入賞区分	学校名	児童氏名
1年生	大賞	厚真中央小	大宮 暉子
	優秀賞	上厚真小	石掛 希
	優良賞	厚真中央小	青山陽太郎
	〃	厚真中央小	那須野佑月
	〃	厚真中央小	日西 楓
	〃	上厚真小	村上 慶砥
	〃	上厚真小	安本 希唯
2年生	最優秀賞	上厚真小	清野 百花
	優秀賞	厚真中央小	石村 聡太
	優良賞	厚真中央小	酒井 一成
	〃	厚真中央小	當田 真康
3年生	〃	厚真中央小	丸山 さくら
	最優秀賞	厚真中央小	田中 萌葉
	優秀賞	厚真中央小	山本 幹太
	優良賞	厚真中央小	佐藤 聖太
	〃	上厚真小	澤田 花凜
	〃	厚真中央小	中島 花奏
	〃	上厚真小	濱島 美月
4年生	〃	厚真中央小	松岡 紗奈
	最優秀賞	厚真中央小	土居 弥
	優秀賞	厚真中央小	飯塚 芽生
	優良賞	上厚真小	内山 裕翔
	〃	厚真中央小	大宮 幹丞
	〃	厚真中央小	今野 仁菜
	〃	厚真中央小	宮副 咲良
5年生	〃	厚真中央小	森 華音
	最優秀賞	厚真中央小	金澤 優奈
	優秀賞	厚真中央小	伊藤 楓花
	優良賞	上厚真小	安達 陽
	〃	上厚真小	川村 羽海
	〃	厚真中央小	野村 優
	〃	上厚真小	濱島 和希
6年生	〃	厚真中央小	山川 和輝
	最優秀賞	上厚真小	内山 修慈
	優秀賞	厚真中央小	高橋希乃花
	優良賞	厚真中央小	江川 京珠
	〃	厚真中央小	大浦 瑛士
	〃	厚真中央小	今野 真彩
〃	厚真中央小	橋本 桔平	

2月定例・臨時教育委員会

2月13日に開催された臨時教育委員会及び2月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

平成30年度教育費予算案、鹿沼の長門茂明さんから長いも37.9kg、にら31.1kgを学校給食センターに寄贈、第2回厚真中央地区学校運営協議会、学力向上推進委員会についてなど（8件）

◆議案

平成30年度教育行政執行方針について、厚真町加賀谷厚三・明美奨学金給付条例施行規則の制定について、厚真町放課後児童クラブ運営規程の一部改正について

◆その他

各学校の卒業式・入学式の日程、平成29年度胆振管内教育委員会委員研修会についてなど（3件）

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

パークゴルフ場 オープン

今年のパークゴルフ場のオープン予定日をお知らせします。

■4月15日【日】

新町町民広場パークゴルフ場
上厚真パークゴルフ場

■5月1日【火】

本郷いこいの森パークゴルフ場

※利用の際は、備え付けの利用者名簿に記入のうえ、ご利用ください。

★問い合わせ スポーツセンター ☎27-3775

平成30年度の 就学援助のお知らせ

教育委員会では、次のいずれかに該当する世帯に対して学用品費などを援助しています。

- 対象
 - ①生活保護が停止か廃止になった世帯
 - ②町民税が非課税か減免になった世帯
 - ③個人事業税や固定資産税が減免になった世帯
 - ④国民年金保険料の免除、国民健康保険料が減免、又は徴収が猶予された世帯
 - ⑤児童扶養手当を受給している世帯
 - ⑥世帯更生資金を利用している世帯
 - ⑦公共職業安定所に登録している、日雇い労働の世帯
 - ⑧その他経済的に困りの世帯
- 援助内容 学用品費、修学旅行費、新入学用品費、学校給食費、体育実技用具費、医療費、PTA会費、生徒会費
- 提出書類
 - ・就学援助費申請書（各学校にあります）
 - ・平成29年分源泉徴収票や確定申告書の写し
 - ・対象の世帯であることを証明できる書類の写し
- 申込み 5月10日【木】までに各学校へお申込みください。小学校と中学校にお子様に通学している家庭は、それぞれの学校に申請書を提出してください。
- 問合せ 教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

ノーゲームデー 取組報告 年間成功率 小中とも46%

ノーゲームデーとは「毎月、第1・第3日曜日に電子ゲームをお休みしましょう。」というもので、今年度で2年目を迎えております。前年度と比べると、ノーゲームデーに成功する子どもが増えてきました。

ひと月に2回の取組ですが、ネットや電子ゲームの利用を含めた望ましい生活習慣の見直しのきっかけになればと思います。

1年間のノーゲームの平均成功率は、小・中学生とも全体の46%でした。しかし、「ゲームの時間をいつもより減らした」割合を含めると、小学生は約64%（前年度比 +19%）、中学生は約74%（前年度比+23%）の子どもたちが、ノーゲームデーに意識的に取り組んでいたようです。

平成30年度の「ノーゲームデー」の取組は、4月15日（日）からスタート予定です。

【おわび】

生涯学習だより2月号3ページ「第38回厚真町スピードスケート記録会成績」の内容で、入賞者名に誤りがありました。謹んでおわび申し上げます。

【小学男子 2000リレー】

③中央B 丸山晴凧君 → 丸山陽凧君

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所をお持ちの方の子弟で、大学等に進学された方に学資金の貸付を行っています。

平成30年度の新規貸付の申込みの受け付けは、4月から開始します。（〆切は5月末日）

- 貸付対象者
 - (1) 短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
 - (2) 高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
 - (3) 専修学校専門課程（2年以上4年以内）
 - (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準
学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額
月額6万円以内で1万円単位に希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月上旬にお振込いたします。

・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）

・早期貸付：初回貸付は6月中旬（4～6月分）

※早期貸付の場合、前年（平成29年）の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

①申請書（教育委員会にあります）

②在学証明書

③成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）

④健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）

⑤課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

●申込期限

平成30年5月31日（水）まで

（ただし、早期貸付（6月）を希望される場合は5月1日（火）までに申請してください。）

●申込先 厚真町教育委員会（学校教育グループ）
お問合せ先 ☎(0145) 27-2494（直通）

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)



はじまるよ！本のカーニバル



4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。

図書室では今年も読書週間で、「読書の木」の展示を行います。本を読み終わったら図書室カウンターにお知らせください。本1冊につき、花や葉っぱのかたちのカード1枚をお渡しします。カードに読んだ本のタイトルを書いて、「読書の木」に張り付けます。利用者の皆さんとともにつくりあげていく展示です。どなたでも参加していただけますので、ぜひカウンターにお越しください。

カード配布開始日 4月10日～

配布場所 青少年センター図書室



～農業実用書 ご利用ください～



図書室では本格的に農業を勉強したい方のために、専門的な農業実用書の収集を始めています。土壌や野菜栽培の基礎から、各種野菜の専門書はもちろん、食品加工や流通販売の参考となるような書籍も集めています。また、本を読むだけではわかりにくい農作業のコツを動画で見ることができるDVDもあります。今は一般的な野菜中心ですが、「こんな野菜はあるだろうか」「作業のこういうところについて調べたいんだけど」といったご相談も可能な限り承りますので、図書室カウンターまでお知らせください。

青少年センターからのお知らせ ～4月の予定～

★プラネタリウム★

●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

●投影内容

- 1 春の星座解説
- 2 New Horizons
「まだ見ぬ地平線に降り立つ！」

※グループ、団体などご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。

★天体観望会★

「月・金星を見よう」

- と き 4月20日(金)
午後7時～午後8時30分
※天候不良の場合は、プラネタリウムでの
星空解説を行います。
- と ころ 青少年センター天文台
※夜間開催のため、小・中学生の参加は、
保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問い合わせ先：教育委員会社会教育グループ

☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『 雲上雲下 』

朝井まかて/著

「物語が世界から消える？」本についていた帯の一言です。昔話は残酷だ、子供に死を感じさせたくない、私が読んでいた物語の内容が改変されています。改変された時点で物語がひとつ消えてしまうような気がします。今風のみんなが仲良くするお話ばかりではなく、なぜこうなったのかと考えるお話も必要なのではと思います。



- ・路上のX 桐野 夏生/著
- ・信長を生んだ男 霧島 兵庫/著
- ・あきない世傳 金と銀5 高田 郁/著

児童書

『 したじきくんとなかまたち 』

二宮 由紀子/作

小学校に通うみんなは寝る前に次の日の準備は出来ているかな？ちゃんと準備しないと、このおはなしの「したじきくん」のように学校に行くのが怖いよって泣いている文房具が出てくるかもしれないよ。絵本ですが、1年生の不安な気持ちを和らげてくれるような楽しいお話です。



- ・恐怖の帰り道 針 とら/著
- ・赤毛のアン モンゴメリ/作
- ・ギリシア神話 知っておきたい神様たちの物語
- ・くれよんがおれたとき かわいまり/さく

実用書

『 バッタを倒しにアフリカへ 』

前野ウルド浩太郎/著

大学院博士課程を修了しても働き口がない博士がいて、著者もその一人です。サハラ砂漠では今でもバッタによる食害に悩まされています。前野氏は日本人が13人しかいないモーリタニアへ単身乗り込み、言葉の壁、文化の壁を乗り越えバッタの防除に挑んでいます。落ち込んだ時に読むとパワーを分けてもらえそうです。



- ・北海道の歴史がわかる本増補版 桑原真人ほか/著
- ・小さい畜産で稼ぐコツ 上垣 康成/著
- ・人生ごっこを楽しみなヨ 毒蝮三太夫/著

絵本

『 すっぱりめがね 』

藤村 賢志/作

ラーメンがはいったどんぶり、断面はどうなっているのかな？という好奇心をイラストで表してくれた絵本です。普段は見るできない食卓や家の中のいろいろなものの断面を「すっぱり」とみせてくれます。これってどうなっているのかなーと親子で楽しみながら読んでください。



- ・きつねのおはなはん 中川 正文/さく
- ・くまのこポーロ 前田まゆみ/さく・え
- ・あいさつしかけえほん いただきます 新井 洋行/さく



～図書室からのお知らせ～



■4月の休館日

29日【日】 昭和の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）

午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■4月の移動図書

- ・上厚真小学校
未定（学校のお知らせをご覧ください）

- ・ともいき荘
20日【金】 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

日時：26日【木】 午前10時30分～11時
場所：青少年センター 絵本コーナー

☆放課後子ども教室☆

玄関のドアを開け外に出ると、春の匂いがしました。雨が降って雪解けもぐっと進み、季節が移り替わっていく様子が目に見えると、ウキウキとした気持ちになるのは、この時期の特権です。

3学期も後半戦。放課後教室では、ラグビーボールサッカーやミニドーナツづくり、^{まがたま}勾玉づくりなどを行いました。ミニドーナツづくりは、子どもたちからのリクエストをプログラムにしたものです。ホットケーキミックスで生地をつくり、油で揚げ、ピンポン玉サイズの小さなドーナツがたくさんできました。トッピングには町内の農家さんがつくっているハスカップジャムを、生クリームに入れてホイップしたハスカップクリームもつくりました。揚げたてのドーナツの美味しさに子どもたちも大満足です。ボウルに残ったクリームまできれいにたいらげました。

3月3日（土）に今年度最後の放課後特別教室『ありがとうランチパーティー』を実施しました。1年の活動を支えてくださった保護者、地域の方々を招待し、子どもたちが感謝の気持ちを込めてお昼ご飯をつくります。厚真産の食材を使ったカレーやサラダにデザート。田植えをして収穫したお米もふっくら美味しく炊けました。同日、午後1時から『H29年度放課後子ども教室活動報告会』を合わせて開催し、実績や活動内容、参加している子どもたちの声などを、1年の活動の写真とともに振り返りました。

放課後子ども教室が始まって、6年という月日が経ちました。始まった当時、1年生だった子どもたちがこの春、小学校の卒業を迎え、1年目に送り出した卒業生は高校3年生になります。今までも、そして、これからも厚真に育つ子どもたちが“自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人”に育っていくために、地域に根ざした体験活動を続けていくことが必要だと考えています。地域の中で子どもたちが育つ環境を充実できるよう、私たちスタッフとしても自らが厚真町のことを学び続け、放課後子ども教室の活動に還元していけるよう努めていきたいと思ひます。

春からもまたたくさん一緒に遊びましょう！

